バイオものづくり革命推進事業

未利用油糧資源を用いた油脂特化型メタン発酵技術の開発

事業期間

2026年度～2032年度(7年間)

事業の目的・概要

未利用油糧資源を原料とする油脂特化型メタン発酵技術を開発し、バイオエネルギーの供給により社会課題の解決に貢献する。

【研究開発項目③　/補助】：油滓を原料とするメタン発酵技術の開発
【研究開発項目④　/補助】：油滓由来バイオガスの精製技術の開発および実証
【研究開発項目⑤　/委託】：バイオガスのLCA評価モデルの構築と社会実装基盤の整備

実施体制

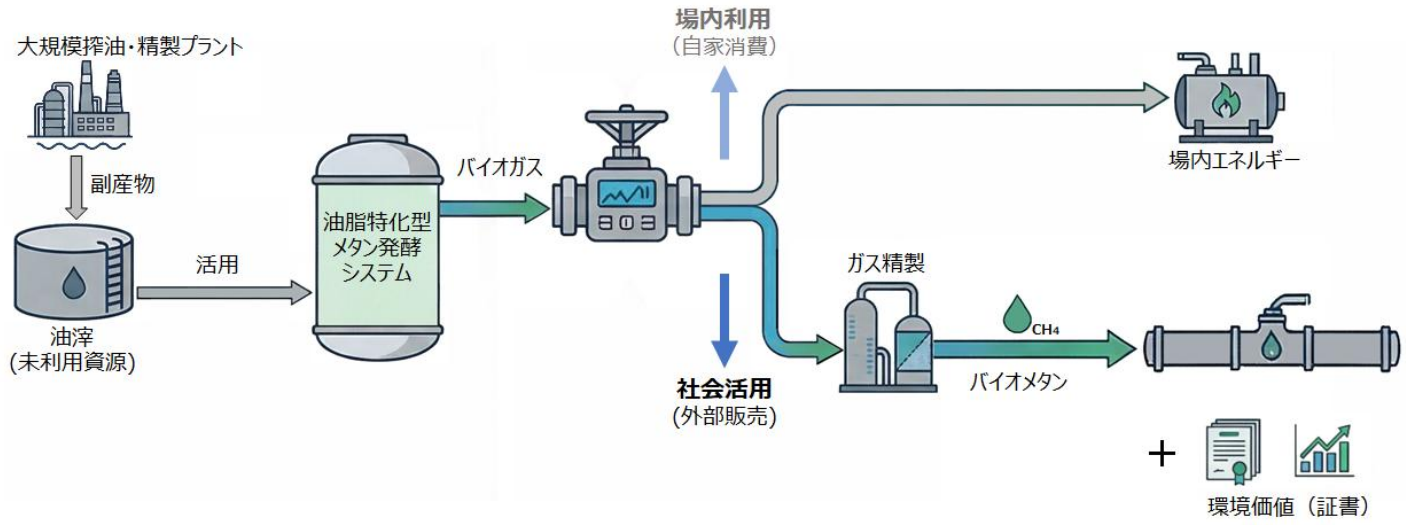
日清オイリオグループ株式会社（③, ④, ⑤）

事業規模など

□ 事業規模:　約70億円　　□ 支援規模*：約29億円

＊補助率　・・・ ③：2/3～1/3,　④：1/3

事業イメージ



事業目的

油脂原料に特化したメタン発酵技術の開発により、未利用油糧資源である油滓からバイオガスを生産し、自家消費のみならず社会活用（外部販売）することで、資源の有効活用と地域におけるエネルギーのGX推進に貢献する。

事業概要

油滓を原料とするメタン発酵技術の安定化・効率化を目的とする技術開発を行うとともに、段階的なスケールアップを実現する。また、社会実装時に求められるバイオガスの要求基準を満たすような精製技術等の開発及び実施を併せて行う。
LCA評価モデルの作成等により、社会実装時に当該技術の環境価値を客観的に算定可能な基盤整備に取り組む。